## 補助金事業

事	業	事務	まちなみ環境整備導	手業費		担部名		
1	29	事業名				当課名		
		<del>/ U</del> D 88	<b>眼松左麻</b> 亚代	47 年 6 49 7 年 年		署 電話		
事	茅			17 年度   終 了 年 度	-	子 会計		
総		策の大綱		心して暮らせるまち		算 款 科 項	土木費	
合計		策名(章)		便性の高いまちづくり		<b>F</b>	道路橋梁費	
圖		策名(節)		なぐ道路網の整備		□ 目	道路維持費	
		施計画掲載		個別計画				
化:	炒达	令·要綱等	射水市まちなみ環境圏	登 <b>佣</b> 争某美 <b>旭</b> 安絅				
事 対象 交付 先 射水市内自治会(町内会)								
目的	意図	交付目的	自治会(町内会)が事 の一部を補助する。	写業主体となり、健全な生活F	環境への改善を行	ううための	の事業実施に	要する費用
事業内容	手段	補助金等の受実を けってい かいかい かいかい けい する がい かい	まちなみ環境整備に対する市の財政上の助成措置等、総合的な支援を行う。 〈らしの道づくり事業 道路改良舗装事業 道路消雪事業 公共用地維持管理事業(草刈り機の購入補助) 小型除雪機購入事業 快適〈らしづくり事業 雨水排水路整備事業(雨水排水路の改修工事費補助)					
	水工	TII 57 ()	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備	<b>備費補助</b>	政策的	補助
補	類	型区分	格差是正補助	利子補給	その他(		<u> </u>	)
助			補助区分	算出方法(対象約	Z費·基準単価·补	甫助率・」	上限額等)	
金事業	補助内容		定額補助					D1/2以内
t⁄τ					管理形態	·		
施設	施	設 名			指定管理者名			
管	構				指定管理期間			
理運		築 年 度	改 但	多 年 度	類似施設状況			
造営		震の有無		末面積	民間施設状況			
事業			,,_,					
業	取	備·規模						
	44	<b>声                                    </b>	則	才源内訳   国庫支出金   県	支出金市	債	その他	一般財源
	総	事業費		(千円)				
施設等整備事業			平成22年度	平成23年度			平成24年度	
<b>設</b>								
整	整							
備事	整備内容							
業	容							
その	#土	13 車 15 竿						
の他	1च	記事項等						

補助金事業

## 事業 129 事務 まちなみ環境整備事業費

担当課 道路·河川管理課

	指標名			H22年度		H23年度	H24年度	
			単位	実績	目標·見込	実績	達成率	目標·見込
成		利用者数 設定できる場合 ( )	人					
成果指標		要望に対する採択件数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
標								

		事業	費	平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
		直接事	¥ 費	4,929 千円	5,184 千円	5.2	3,400 千円
	事業	(補助金等	交付件数)	( 22 件)	( 9件)	59.1	( 10 件)
	<del>*</del>	正規職員人	件費相当額	966 千円	952 千円	1.4	952 千円
≢	<u>.</u> フ	退職手当引	当金相当額	140 千円	133 千円	5.0	133 千円
事業費	[						
費	Ī	事業コ	スト計	6,035 千円	6,269 千円	3.9	4,485 千円
,	、則	支 県 国	出金	千円	千円		千円
が付置		Į					
費	計内	$  \mathcal{F}   \sigma$	他	千円	千円		千円
	訴	一 般	財 源	6,035 千円	6,269 千円	3.9	4,485 千円
	当	á 該 事 務	正規職員	0.14 人	0.14 人	0.0	0.14 人
	贫	É事職員数					
	禾	月用者1人当	たりコスト	-	-		
		うち一般財法	原ベース分	-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	地域が必要とする事業を実施することで、生活環境の整備や改善を図ることができる。 補助対象事業の随時改正を行い社会情勢の変化に対応した制度となっている。
有効性	4	事業実施により、自治会(町内会)住民の生活環境の向上につながっている。
効率性	2	自治会(町内会)が自ら協働の事業として実施することから補助金としての効率性は高いものと考える。 補助金額は、対象事業により数万円程度から数百万円と開きがあるが、自治会(町内会)が環境整備と して必要とする事業希望によるものである。また、目的及び対象に類似する補助金は他に無い。

評価結果 (1次)

補助率及び上限額の見直しが必要

評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)

現行補助要綱の補助対象事業等は、平成21年4月1日 改正されたものであり、現在の社会的情勢に大差はない。 事業補助にあたっては、自治会(町内会)の要望に基づき 内容等精査のうえ補助するものであり、公共用地の維持保 全の観点からも現行補助率等は適正と考え、引き続き現補 助要綱に基づき事業実施したい。

評価結果
(2次)

評価委員会のコメント

## 施設等整備事業

事	事業事務		橋梁維持費						担 当 部	部名		
1	32	事業名								課名		
		4 #0 00	田 45 左 克		· /= ri=	14 7 F			署	電話		4
事	業		開始年度				区	-	—— 予	会計		
総		策の大綱				らせるまち ナカデ//2			算	款	土木費	<b>5</b>
合		策名(章)				いまちづくり			科目	項	道路橋梁費	
計画										目	橋梁維持費	
		施計画掲載		頁個別	引計画							
根	拠法	令·要綱等	道路法第42条									
事業目:	事 衆 誰を・何を 全市民及び橋梁利用者											
目的	意図	どのような状態に	橋梁を適正に維	持管理で	すること	で、歩行者及	び車両	両が安全で	で快適に村	喬梁を	通行できる。	こうにする。
事業内容	手段	どのような 方 法 で										
	米古	₩ ▽ 八										
補	兴	型区分										
助金			補助区分			算出方法(対	象経	費·基準導	单価·補助	り率・」	-限額等)	
事業	補	助内容										
施								管理形	態			
計	施	設 名					_	指定管理				
管理	構	造·階数					3	指定管理	期間			
管理運	建	築 年 度		改修	年 度		3	類似施設	状況			
営		震の有無		延床				民間施設				1
事		備·規模										
業	取	用										
	松公	事業費	7,860 千		例訳	国庫支出金	県:	支出金	市債		その他	一般財源
<b>≯/</b> -	IND	<b>开木</b> 具	·	۱ (	千円)	3,300						4,560
施設	_		平成22年度			平成23	年度				平成24年度	Ž
設等整備事業	整備内容	·橋梁概略原 ·橋梁台帳園	点検 20橋 整備 258橋			詳細点検 22 台帳整備 23			·橋汐	<b>架長寿</b>	命化修繕計	画策定 63橋
その他	特	記事項等										

施設等整備事業

事業 132 事務 橋梁維持費

担当課 道路·河川管理課

	于未日						
	指標名	単位	H22年度		H23年度	H24年度	
	J日 1水 口	— iii	実績	目標·見込	実績	達成率	目標·見込
			***************************************	***************************************	***************************************		
	橋梁点検	橋	20	22	22	100.0	_
活		110	20			100.0	
活動指標	橋梁長寿命化修繕計画策定	橋	_	_	_		63
指		119					00
標	橋長15m以上の橋梁数	橋	61	61	61	100.0	61
	同区でバグエジョウベメ	119	01	01	01	100.0	01

		事業	費	平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算	
		直 接 事 (臨時職員人		4,725 千円	9,818 千円	107.8	6,000 千円	
	争							
	事業コ	正規職員人	件費相当額	1,587 千円	1,632 千円	2.8	1,632 千円	
車	ス	退職手当引当金相当額		230 千円	228 千円	0.9	228 千円	
事業費								
費		事業コスト計		6,542 千円	11,678 千円	78.5	7,860 千円	
,	財源内	国 県 支	出金	4,725 千円	6,925 千円	46.6	3,300 千円	
件								
件費		そ の	他	千円	千円		千円	
	訳	一 般	財 源	1,817 千円	4,753 千円	161.6	4,560 千円	
	当従	該 事 務	正規職員	0.23 人	0.24 人	4.3	0.24 人	
		事職員数	臨時職員	人	人		人	
	利	用者1人当	たりコスト	-	-			
		うち一般財法	原ベース分	-	-			

評価項目	点数	説明
妥当性	4	橋梁の維持管理及び修繕は、通行者が安全で快適に橋梁を利用するため必要な事業である。
有効性	3	橋梁の維持管理費を低減させ、長寿命化を図るためには長寿命化修繕計画に基づ〈予防保全的維持修 繕が有効である。
達成度	4	橋長15m以上の橋梁について、長寿命化修繕計画を策定する。
効率性	4	計画に基づ〈予防保全的維持修繕によって橋梁のライフサイクルコストの低減が図られ、効率的な維持管理が行える。

評価結果 (1次)

現行(計画)どおり事業を進めることが適当

評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)

引き続き、橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持修繕を推進 し、橋梁のライフサイクルコストの低減を図り、安全で快適な橋梁の保持に努める。

評価結果 (2次)

評価委員会のコメント